

2023年12月版

ピジョンクラウド 入門ガイドブック



株式会社ロフトタル

目次

<u>ピジョンクラウドでできること</u>	3p
<u>画面説明</u>	8p
<u>メニューの構成</u>	9p
<u>テーブルの作成</u>	10p
<u>レコードを登録する</u>	16p
<u>「計算」項目</u>	18p
<u>CSVアップロード</u>	27p
<u>集計</u>	34p
<u>ユーザー管理</u>	40p
<u>その他の機能</u>	45p

ピジョンクラウドでできること

業務に合わせたテーブルを作成

業務に合わせてテーブルを作成できます。テンプレートから作成したり、自分でカスタマイズを自由に加えることができます。

データを一元管理

様々なデータフォーマットに対応しており、データを一元管理することができます。ブラウザから複数ユーザーで共有することができます。

ピジョンクラウドで作るデータベース例

ファイル管理

在庫管理

勤怠管理

問い合わせ管理

タスク管理

日報管理

顧客管理

請求管理



ピジョンでは上記以外にも多くのテンプレートをデフォルトで備えています。

ピジョンクラウドの特徴

プログラミング不要



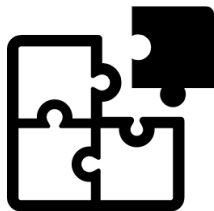
設定画面から設定を行うことで誰でもデータベースが作成できます。

データのエクスポート(出力)と、インポート(入力)



CSVでエクスポート・インポートができるためエクセルで作成したデータを使うことができます。

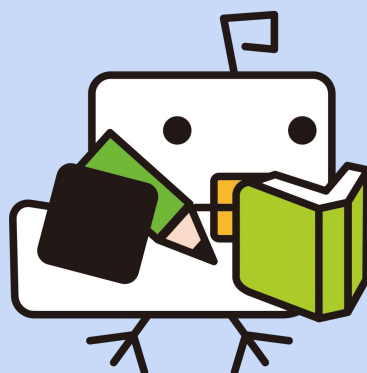
拡張可能



APIが用意されているので、外部連携や拡張が可能です。

まずは無料登録から、
データ登録までやってみましょう

さっそく使ってみよう！！



ログインする

指定ID/PASSでログインします。

Pigeon Cloudログイン

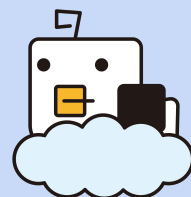
	<input type="text" value="xxx@xxxxx.com"/>	
	<input type="password" value="●●●●●●●●●●●●●●●●"/>	

[パスワードを忘れた方](#)

画面説明

サイドメニューを隠します

とても
シンプルだね！！



掲示板

 PigeonCloud

pigeonクラウドへようこそ！
こちらの掲示板は自由に編集することが可能です。

▼入門ガイド
https://pigeon-fw.com/files/PigeonCloud_GuideBook_Start.pdf

▼入門ガイドの動画による解説
<https://www.youtube.com/watch?v=ohmxSP5Uy6U>

▼詳細のご利用マニュアル
<https://pigeon-fw.com/document/cloud>

▼サポート
sales@loftal.jp
050-3199-1850
平日10:00~18:00
<https://pigeon-fw.com/cloud/form-contact>

- ユーザー情報編集
- ユーザー管理
- 組織管理
- 権限設定
- ログアウト 等

サイド
メニュー

メインビュー

メニューの構成

テーブル

(データベース)

これはあなたが自由に作成できるテーブルです。最初は何もありません。

ログ

アカウントのログインやアクセスのログを見ることができます



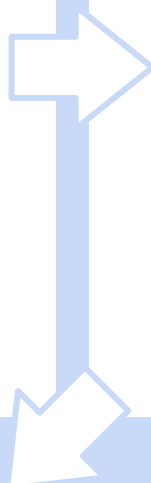
テーブルを作成する

「商品管理」テーブル(データセット)を作成します。

右側のアイコンをクリックし、
表示されるメニューから
「テーブル管理」を選択します



「+」を選択します。



テーブル名を入力します。
ここでは「商品管理」と
しましょう。
「+項目を追加する」を
選択します。

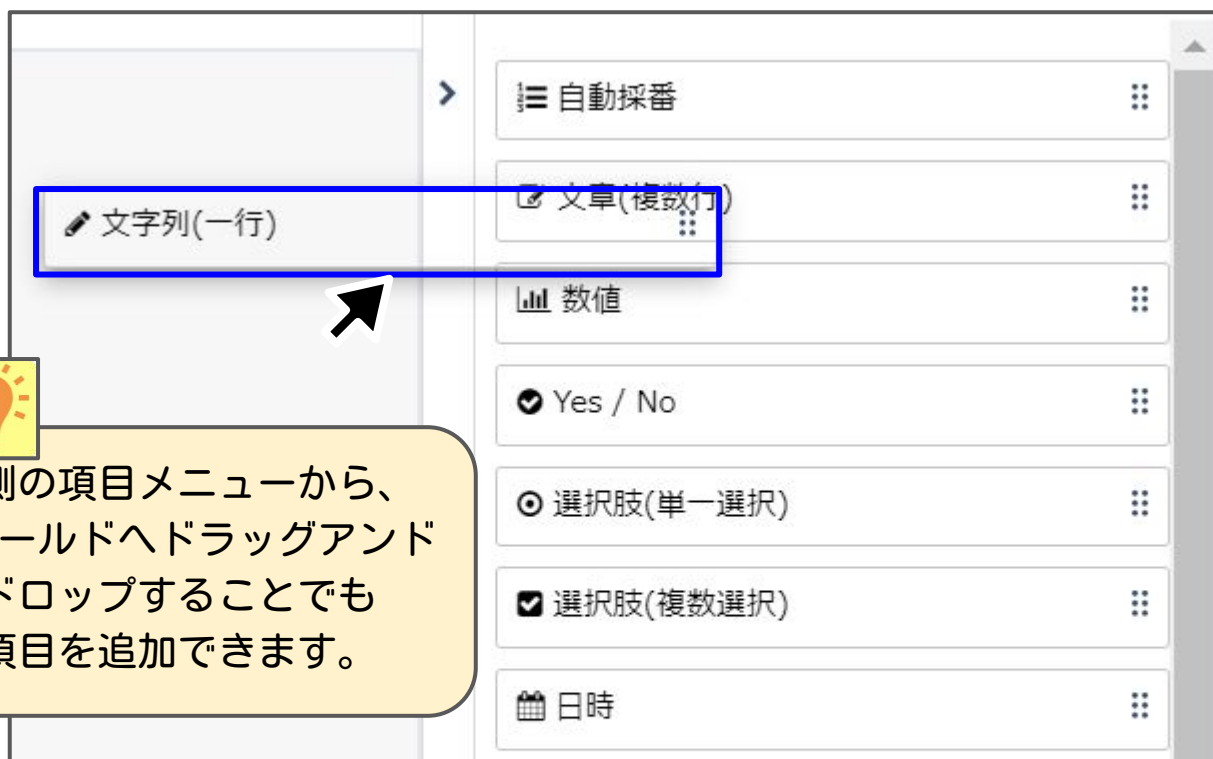
項目

データセットのひとつひとつの
項目です。
エクセルで言うと各列です。

テーブルを作成する

「商品管理」テーブルの項目を作成します。

項目の種類を選択します。「追加」を選択します。
ここでは「文字列(一行)」を選択しましょう。



テーブルを作成する

「商品管理」テーブルの項目を作成します。

項目名に「商品名」と入力します。

種類は「テキスト」のままで大丈夫です。

「追加オプション設定」をクリックしてください。

項目編集

項目タイプ変更

文字列(一行)

項目名 ※

種類 ※ テキスト
 メールアドレス
 URL

値の重複 値の重複を禁止する

テーブルを作成する

「必須項目にする」にチェックを入れます。

× 追加オプション設定

必須設定 必須項目にする

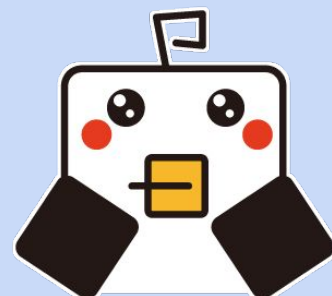
一番下の「追加する」（もしくは「変更する」）で、項目の追加が完了です。

キャンセル

右下の「登録」で、テーブルの登録をしましょう。

キャンセル

これで、
「商品管理」テーブルに
「商品名」項目が
追加されたよ！



テーブルを作成する

「仕入金額」「金額」の項目も追加してみましょう。
今回は「文字列（一行）」ではなく「数値」なので、
そこだけ注意してください。

項目名	項目タイプ	必須かどうか
仕入金額	数値	必須
金額	数値	必須

右上の⚙️マークをクリックし、「テーブル設定」をクリックします。



「+項目を追加する」をクリックします。
10 p -13 p の手順を参考に、項目を追加していきます。

テーブルを作成する

項目の追加が終わったら、右下の「更新」ボタンと「更新する」を押します。



これで「商品管理」のテーブルが登録できました！！



レコードを登録する

メニューに「商品管理」テーブルが追加されています。「商品管理」テーブルを開いてみましょう。



まだ何も登録されてません。「+」を押してください。



商品の情報を入力して「登録」を押してください。



レコードを登録する

商品情報が登録されました。



商品管理 合計 1 件

入門が活用 > 商品管理

編集モード 簡易検索 PigeonAI

ID	商品名	仕入金額	金額	作成者	作成日時
1	りんご	160円	280円	ビジョン 花子	2023年12月19日 11:14



レコードの詳細確認、編集、削除はこれらのアイコンから行うことができます。



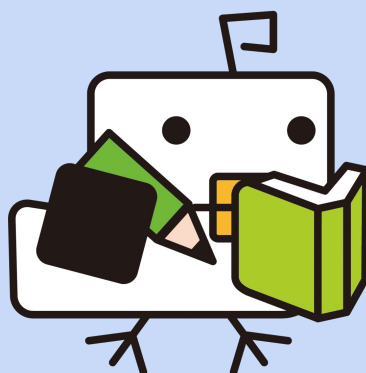
レコードの詳細を
確認する

レコードを
編集する

レコードを
削除する

「計算」項目を使ってみましょう

商品の売上を計算するよ



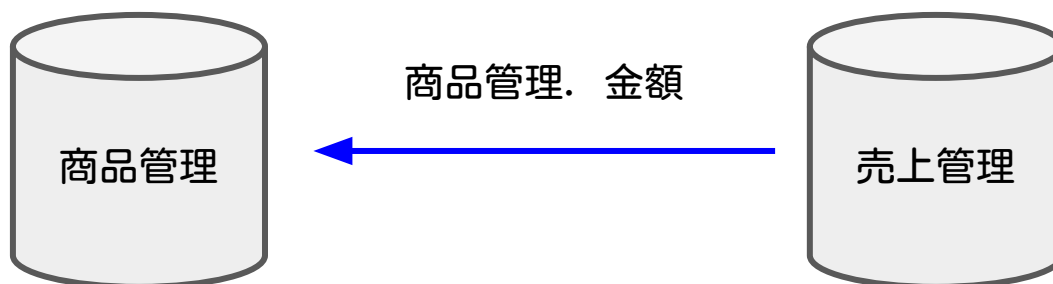
「計算」項目

この章では、商品の売上を計算する「売上管理」テーブルを作成します。

まず、売上の計算式を決めておきます。

$$\text{売上} = \text{商品の金額} \times \text{数量}$$

上記の計算式の「商品の金額」は、前章で作成した「商品管理」テーブルから「他テーブル参照」項目を使って参照します。



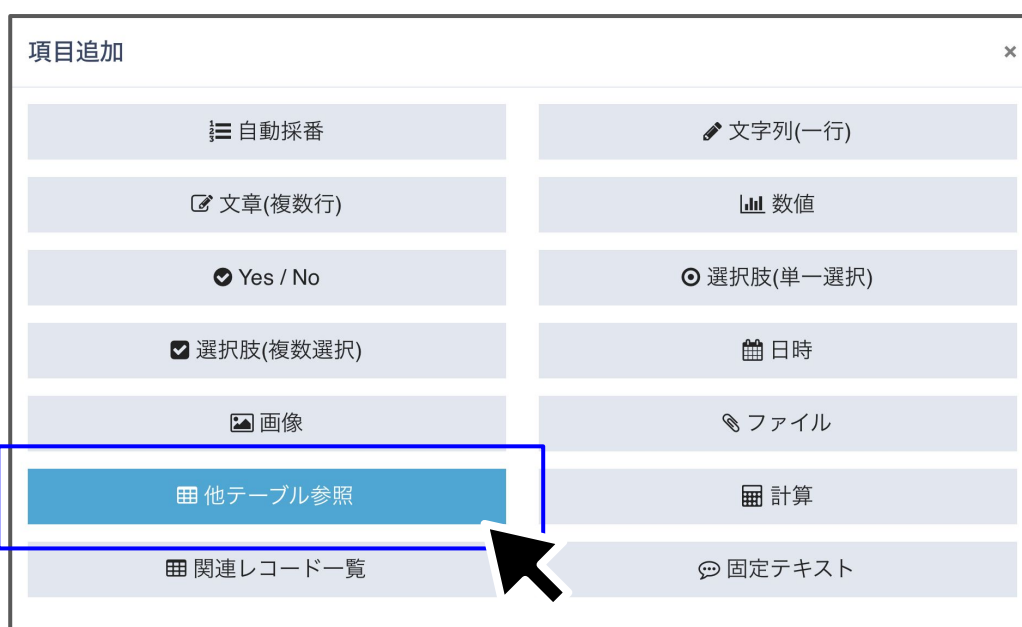
「他テーブル参照」は、テーブル同士を連携させるためによく使う項目です。覚えておきましょう。

「計算」項目

テーブル管理を選択し、メイン画面から「+」を押します。
テーブル名は「売上管理」とします。
「+項目を追加する」を押します。



「他テーブル参照」を選択します。



「計算」項目

- ①項目名：「商品」と入力
- ②対象テーブル：「商品管理」を選択
- ③表示項目：「商品名」を選択
- ④「必須項目にする」にチェック→「追加する」

項目追加

項目タイプ変更

他テーブル参照

項目名 ※ 商品

値の重複 値の重複を禁止する

対象テーブル ※ 入門ガイド用 / 商品管理

入力フォームにする (子テーブル機能) 有効
※有効にした場合、子要素に対する権限設定は無視されます。

表示項目 商品名

選択用表示項目 (空の場合は表示項目が表示されます)

{ID}: {名前}

一覧テーブルからの検索ボタンを表示 有効

プルダウンを出さず、検索フィールドのみ表示 有効

選択肢で新規追加を表示 有効
※有効にした場合、編集画面で選択肢を新たに追加が可能です。

項目のコピー (ルックアップ) +

※ 同じ項目タイプの項目にのみコピー可能です。

他の項目で値の絞り込みを行う +

表示条件 + 条件を 必須設定 必須項目にする

並び順 + 並び順を追加

追加オプション設定

キャンセル 追加する

「計算」項目

10p-13pと同じ手順で、
「日時」「数値」の項目も追加してみましょう。

項目名	項目の種類	必須設定
日付	日時 ※「種類」は「日付のみ」を選択	必須
数量	数値	必須



それぞれの項目で、複製、設定、削除、配置換えを
することが可能です。

複製 削除

数値

設定 配置換え

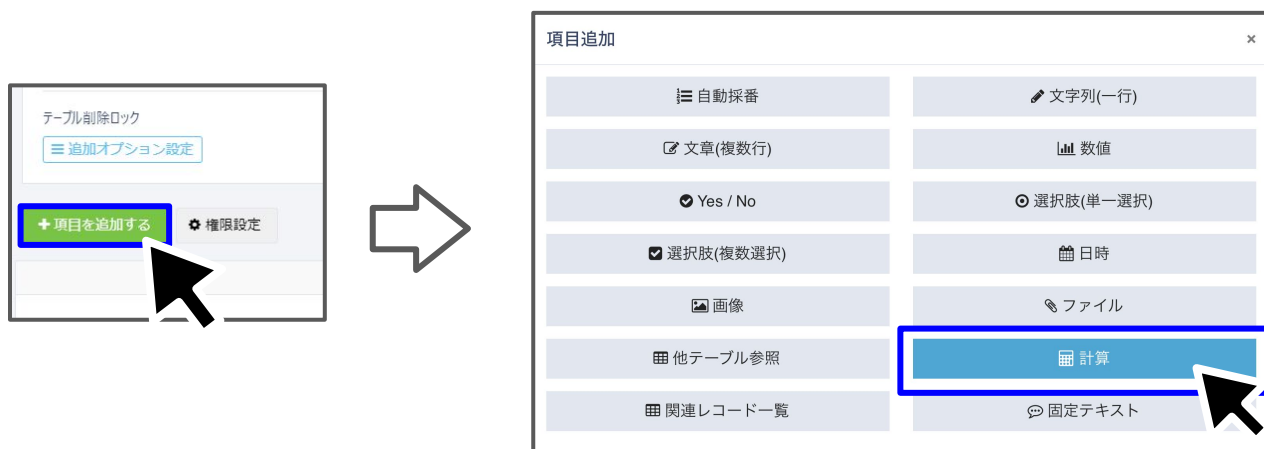
商品 *

日付 *

数量 *

「計算」項目

続いて、売上を計算する項目を追加します。
「+項目を追加する」を押し、「計算」を選択します。



項目名に「売上」と入力し、「計算式」には以下のように入力し、「追加する」を押します。

{商品::金額}*{数量}

The image shows the '項目追加' (Add Item) dialog box with the following configuration:

- 項目タイプ変更: 計算
- 項目名: 売上
- 計算式: {商品::金額}*{数量}
- 計算値の自動更新: OFF
- 計算値の種類: 数値
- 数値の形式: 整数
- 桁区切り: 桁区切りを表示しない
- 単位記号表示:
- 先頭につける: 例: ¥100
- 末尾につける: 例: 30%

The '追加する' (Add) button is highlighted in blue, and a mouse cursor is pointing to it.

「計算」項目

計算項目と他テーブル参照項目は、以下のような構造になります。

商品管理テーブル

商品名

金額

「商品」項目を経由して「商品管理」テーブルの「金額」項目を参照

売上管理テーブル

商品・・・他テーブル参照

売上・・・計算

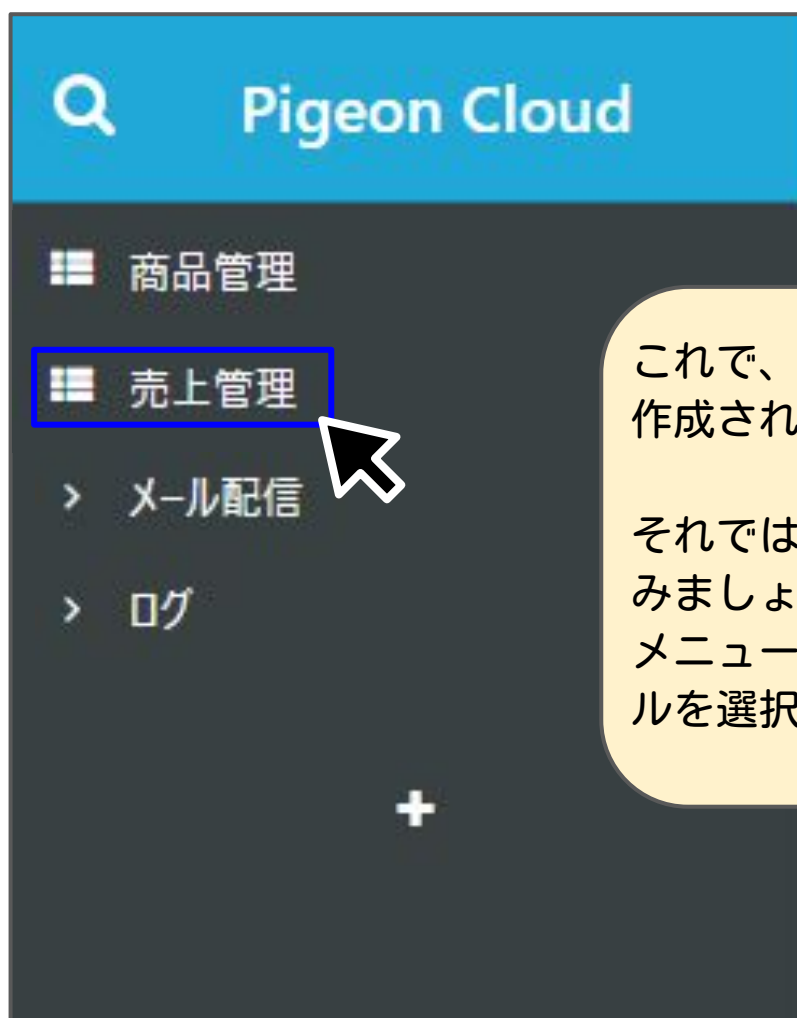
{商品::金額} * {数量}

参照

数量

「計算」項目

右下の「登録」を押し、登録を完了します。



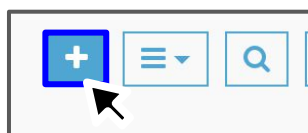
これで、「売上管理」テーブルが作成されました。

それでは、レコードの登録を試してみましょう。

メニューから「売上管理」テーブルを選択します。

「計算」項目

左上の「+」を押します。



「商品」「日付」「数量」の値を選択・入力すると、「売上」がちゃんと自動計算されます！！

商品 *

りんご

日付 *

2022/5/4 罫 現在

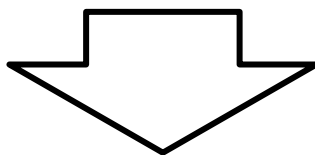
数量 *

2

売上

560

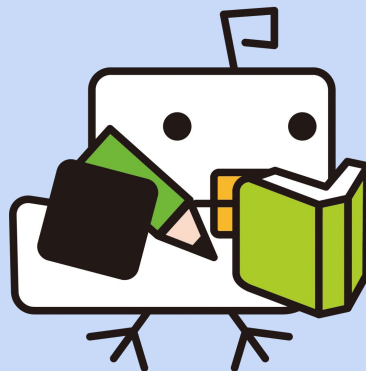
キャンセル 登録



商品 Q	日付 Q	数量 Q	売上 Q
りんご	2022年05月04日	2	560

データをCSVでアップロードしましょう

まとめてデータを
登録しよう

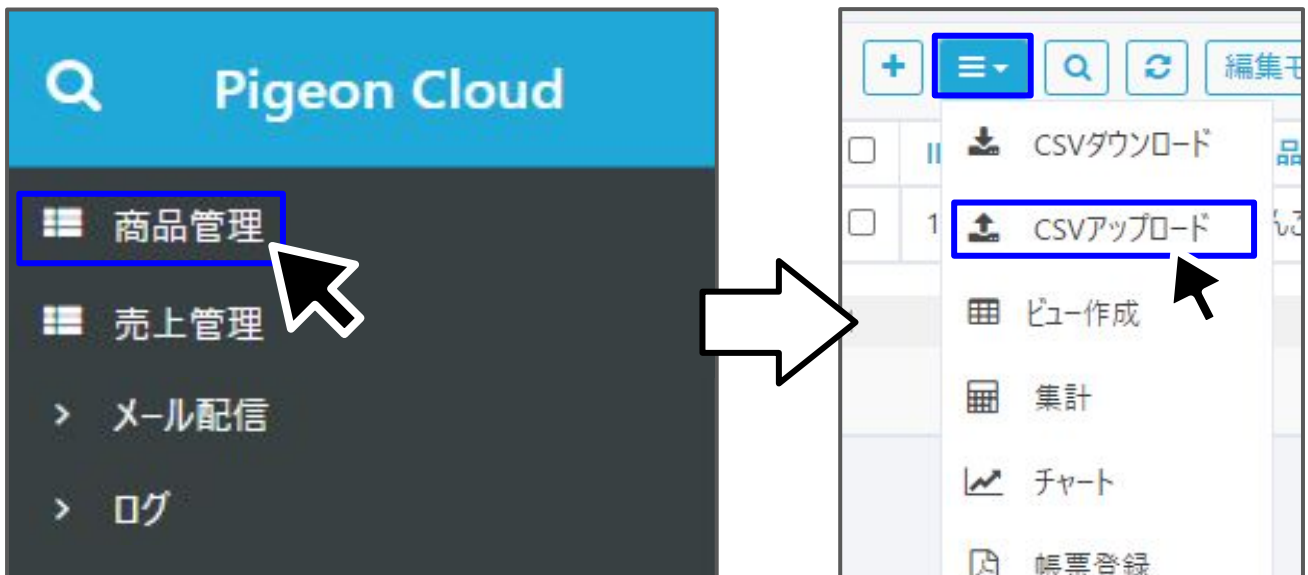


CSVアップロード

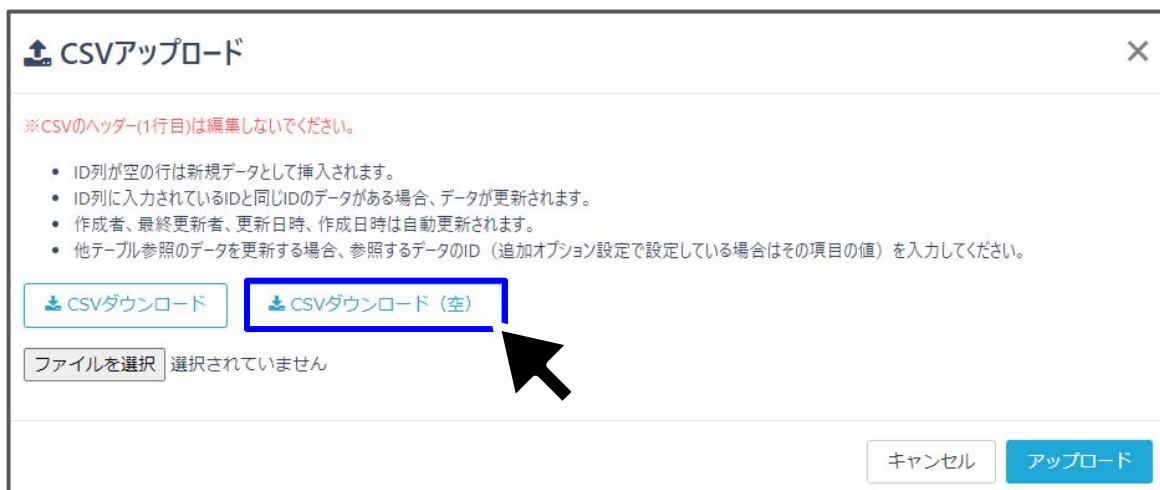
既存のExcelファイルやCSV出力されたデータを取り込む事ができます。

この章ではCSVでデータをまとめてアップロードします。

サイドメニューの「商品管理」テーブルを選択し、左上三本線マークから「CSVアップロード」を選択してください。



まずは、CSVのテンプレートをダウンロードします。
「CSVダウンロード（空）」を押すとダウンロードできます。



CSVアップロード

ダウンロードしたCSVファイルを、エクセルなどの表計算ソフトで開きましょう。下のように行目だけ入力されたファイルを開くことができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	ID	商品名	仕入金額	金額	作成者	最終更新者	更新日時	作成日時
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

これらの1行目は編集しないでください。

以下のように「商品名」「仕入金額」「金額」に値を入れましょう。IDは自動で採番され、「作成者」、「最終更新者」、「更新日時」、「作成日時」は自動で登録されるため、空白で良いです。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	ID	商品名	仕入金額	金額	作成者	最終更新者	更新日時	作成日時
2		バナナ	50	100				
3		オレンジ	75	120				
4		グレープ	150	170				
5		いちご	400	450				
6		レモン	70	130				
7								
8								

入力が終わったら保存してください。

「.xlsx」ではなく「.csv」ファイルとして保存することに注意してください。

CSVアップロード

- ① CSVアップロード画面で、「ファイルを選択」を押します。
- ② 作成したCSVファイルを開きましょう。
- ③ 「アップロード」を押します。

CSVアップロード

※CSVのヘッダー(1行目)は編集しないでください。

- ID列が空の行は新規データとして挿入されます。
- ID列に入力されているIDと同じIDのデータがある場合、データが更新されます。
- 作成者、最終更新者、更新日時、作成日時は自動更新されます。
- 他テーブル参照のデータを更新する場合、参照するデータのID（追加オプション設定で設定している場合）

商品管理_empty.csv

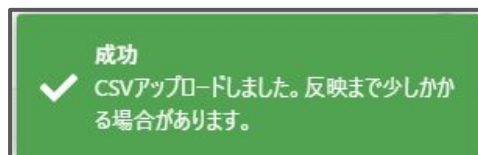
Microsoft Excel ma Separat

開く(O) キャンセル

ファイルを選択 選択されていません

アップロード

以下のポップアップが表示されます。



しばらくするとアップロードが完了しデータが登録されます！

商品管理 合計 6 件

成功
✓ 5件のデータを追加、0件のデータを更新しました。

ID	商品名	仕入金額	金額	作成者	作成日時
2	バナナ	50円	100円	マスターユーザー	2023年12月19日 15:39
3	オレンジ	75円	120円	マスターユーザー	2023年12月19日 15:39
4	グレープフルーツ	150円	170円	マスターユーザー	2023年12月19日 15:39
5	いちご	400円	450円	マスターユーザー	2023年12月19日 15:39
6	レモン	70円	130円	マスターユーザー	2023年12月19日 15:39
1	りんご	160円	280円	ビジョン 花子	2023年12月19日 11:14

CSVアップロード

一度アップロードしたデータをまとめて編集してみましょう。
先程と同じ画面で、「CSVダウンロード」を押して現在のデータをダウンロードします。

↑ CSVアップロード

※CSVのヘッダー(1行目)は編集しないでください。

- ID列が空の行は新規データとして挿入されます。
- ID列に入力されているIDと同じIDのデータがある場合、データが更新されます。
- 作成者、最終更新者、更新日時、作成日時は自動更新されます。
- 他テーブル参照のデータを更新する場合、参照するデータのID（追加オプション設定で設定している場合はその項目の値）を入力してください。

↓ CSVダウンロード ↓ CSVダウンロード (空)

ファイルを選択 選: いません

キャンセル アップロード

ダウンロードしたファイルを開くと、以下のようになっています。
(IDや更新日時、作成日時等はちゃんと自動で入ってますね！)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	ID	商品名	仕入金額	金額	作成者	最終更新者	更新日時	作成日時
2	2	バナナ	50	100	マスター	マスター	2023/12/19 15:39	2023/12/19 15:39
3	3	オレンジ	75	120	マスター	マスター	2023/12/19 15:39	2023/12/19 15:39
4	4	グレープフルーツ	150	170	マスター	マスター	2023/12/19 15:39	2023/12/19 15:39
5	5	いちご	400	450	マスター	マスター	2023/12/19 15:39	2023/12/19 15:39
6	6	レモン	70	130	マスター	マスター	2023/12/19 15:39	2023/12/19 15:39
7	1	りんご	160	280	ピジョン	ピジョン	2023/12/19 11:14	2023/12/19 11:14

CSVアップロード

CSVファイルを以下のように編集します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	ID	商品名	仕入金額	金額	作成者	最終更新者	更新日時	作成日時
2		2 バナナ	50	100	マスター	マスター	2023/12/19 15:39	2023/12/19 15:39
3		3 オレンジ	80	150	マスター	マスター	ユーザー	2023/12/19 15:39
4		4 グレープ	150	170	マスター	マスター	2023/12/19 15:39	2023/12/19 15:39
5		5 いちご	400	450	マスター	マスター	2023/12/19 15:39	2023/12/19 15:39
6		6 レモン	70	130	マスター	マスター	2023/12/19 15:39	2023/12/19 15:39
7		1 りんご	160	280	ビジョン	ビジョン	2023/12/19 11:14	2023/12/19 11:14
8		みかん	170	230				

更新データ

「ID」は変更してはいけない。「更新日時」は空白にする。

新規データ

「ID」「作成者」「最終更新者」「更新日時」「作成日時」は空白にしておく。



IDは、テーブル毎に1から自動的に採番されていく、データを区別する一意な識別番号になります。データの編集対象はこのIDによって区別されます。

CSVアップロード

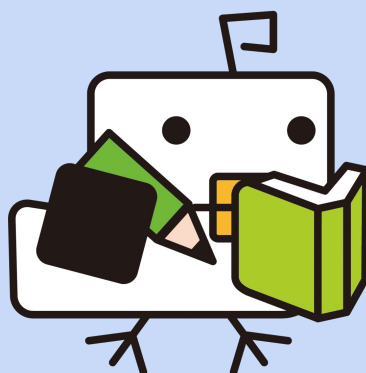
先程と同じ手順で、CSVファイルをアップロードをしてください。
データが下記のように追加・更新されていれば成功です。

<input type="checkbox"/>	ID Q	商品名 Q	仕入金額 Q	金額 Q
<input type="checkbox"/>	1	りんご	160円	280円
<input type="checkbox"/>	2	バナナ	50円	100円
<input type="checkbox"/>	3	オレンジ	80円	150円
<input type="checkbox"/>	4	グレープフルーツ	150円	170円
<input type="checkbox"/>	5	いちご	400円	450円
<input type="checkbox"/>	6	レモン	70円	130円
<input type="checkbox"/>	7	みかん	170円	230円



集計を試みましょう

売上を集計するよ



集計

この章では集計機能を使って、
売上管理テーブルの集計を行います。

まずは集計の元になる売上データを、CSVでアップロードします。
(アップロード方法は「CSVアップロード」の章を参照してください。)
CSVデータはこちらからダウンロードしてください。

<https://pigeon-fw.com/assets/sample/earnings.csv>

「売上管理」テーブルにCSVアップロードを行いましょう。
少し時間がかかります。

Pigeon Cloud

- 商品管理
- 売上管理
- メール配信
- ログ

CSVアップロード

※CSVのヘッダー(1行目)は編集しないでください。

- ID列が空の行は新規データとして挿入されます。
- ID列に入力されているIDと同じIDのデータがある場合、データが更新されます。
- 作成者、最終更新者、更新日時、作成日時は自動更新されます。
- 他テーブル参照のデータを更新する場合、参照するデータのID（追加オプション設定で設

CSVダウンロード CSVダウンロード (空)

ファイルを選択 選択されていません

キャンセル アップロード

集計

以下のようにデータが入っていれば成功です。



ID	商品	日付	数量	売上	作成者	作成日時
994	りんご	2020年05月06日	7	1,960	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56
999	バナナ	2020年05月06日	2	200	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56
990	いちご	2020年05月06日	2	900	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56
995	りんご	2020年05月06日	5	1,400	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56
1,000	オレンジ	2020年05月06日	9	1,350	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56
991	バナナ	2020年05月06日	10	1,000	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56
996	みかん	2020年05月06日	8	1,840	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56
1,001	バナナ	2020年05月06日	5	500	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56
992	いちご	2020年05月06日	2	900	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56
997	バナナ	2020年05月06日	7	700	マスターユーザー	2023年12月22日 16:56

それでは「集計」を行ってみましょう。

「売上管理」テーブルの左上三本線マークから「集計」を押します。



集計

以下のように入力します。

- ①データ項目1：「商品」を選択
- ②集計項目1の集計方法：「合計」を選択
- ③集計項目1の項目：「売上」を選択
- ④「設定」タブから、タイトルを「売上合計」に
- ⑤フィルタ結果を「表示」

フィルタ / 集計

絞り込み 集計 デフォルト設定 設定

集計を使用する
 クロス集計

データ項目1

項目： ① 商品

追加+

集計方法： ② 合計 項目： ③ 売上

追加+

Y軸の最小値(任意)

0

キャンセル ⑤ 表示 保存する



★データ項目と集計項目の関係★

「データ項目毎に、集計項目の集計を行う」と考えてください。りんご → 売上合計、みかん → 売上合計、バナナ → 売上合計・・・といった具合です。

集計

集計結果が以下のように出力されました！

商品	売上 (合計)
レモン	98280
いちご	369450
オレンジ	110250
グレープフルーツ	141270
みかん	192280
りんご	194040
バナナ	79700

集計結果は保存することができます。「保存する」から保存しましょう。

キャンセル 表示 保存する

▼ 売上合計 PigeonAI

- 表示中のフィルターを編集
- 表示中のフィルターを新規保存
- 表示中のフィルターを削除
- フィルターを解除

売上合計

集計

集計結果が保存されました。
フィルタボタンから保存した集計を確認することができます。

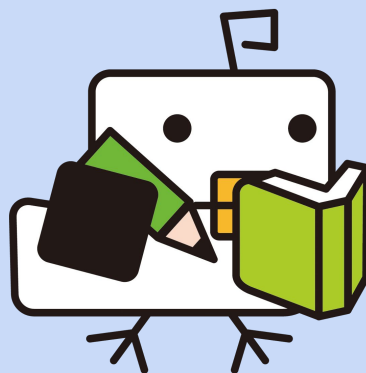


おめでとう！
集計までできるよう
になったね！



ユーザーを増やして権限を管理しよう

複数のメンバーで
使えるようになるよ

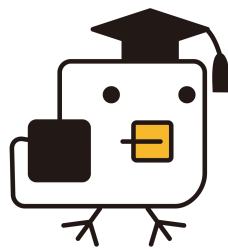


ユーザー管理

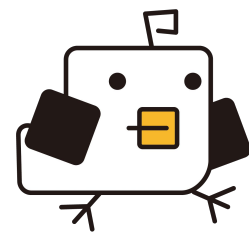
この章ではユーザー管理機能を使って、複数のユーザーで管理が行えるようにします。まずユーザー管理の例を見てみましょう。

マスターユーザーは何でもできますが、ユーザーの場合は閲覧しかできないように設定をしたいと思います。

ユーザー管理の例



マスターユーザー

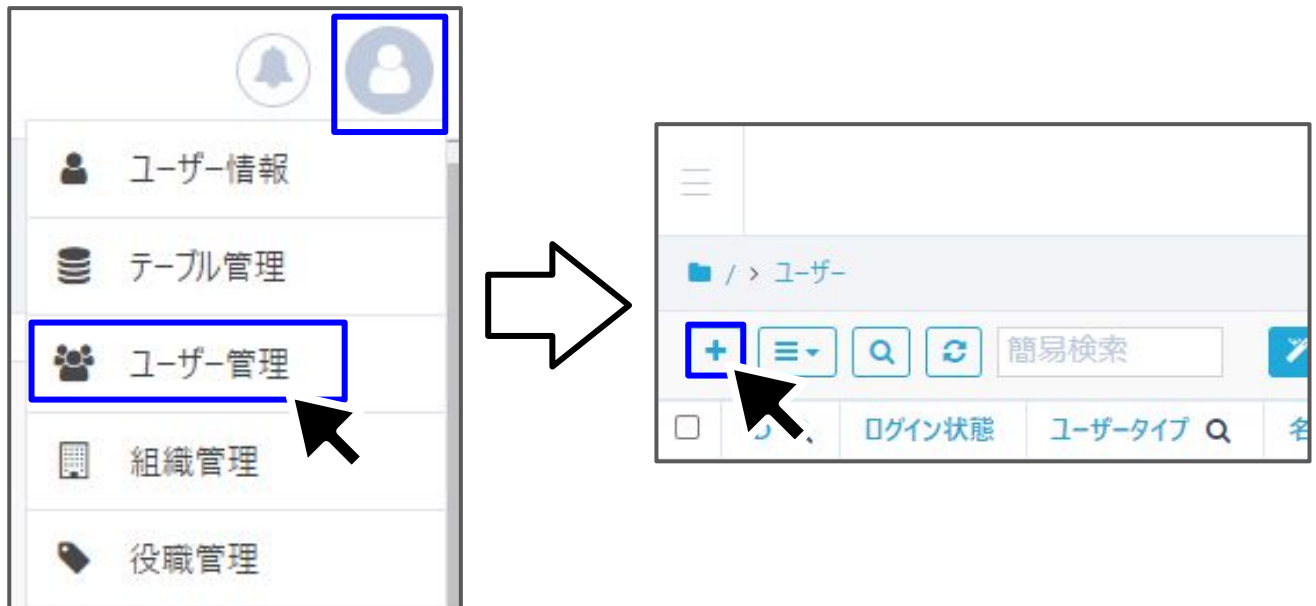


ユーザー

	マスターユーザー	ユーザー
商品管理	閲覧・編集	閲覧
売上管理	閲覧・編集	閲覧
売上集計	閲覧・編集	閲覧
ユーザー管理	○	

ユーザー管理

ユーザーを登録しましょう。
左上人マークから「ユーザー管理」を選択し、「+」で追加です。

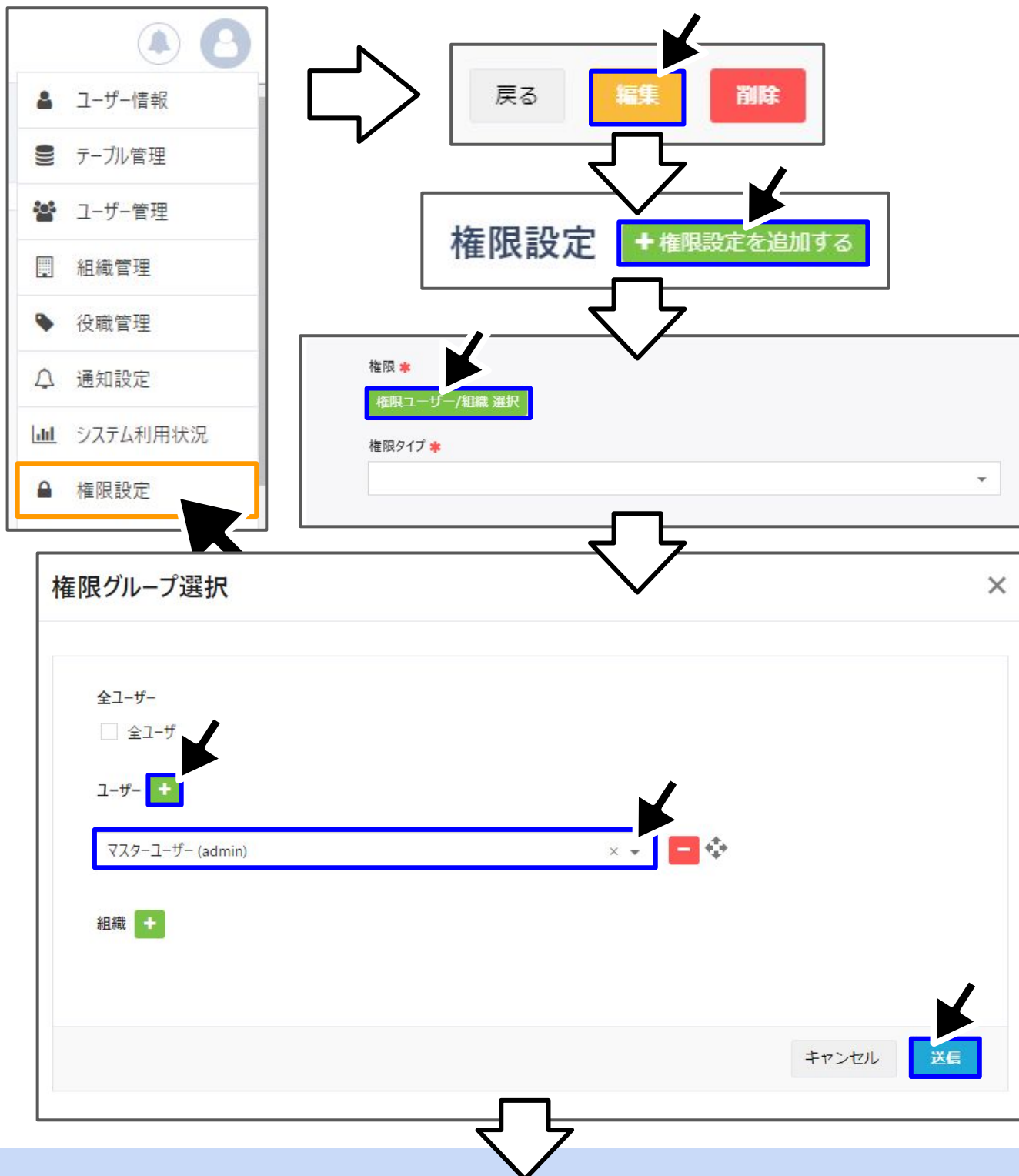


「ユーザータイプ」を選択、
「名前」
「ログインID（メールアドレス）」
「パスワード」を入力、
「状態」を有効にし、
「登録」ボタンで登録します。

The image shows the user registration process. On the left is a form titled 'ユーザー' (User) with the following fields: 'ユーザータイプ' (User Type) dropdown menu, '名前' (Name) text field with 'ビジョン 太郎' (Vision Taro) entered, 'ログインID' (Login ID) text field, '通知先メールアドレス' (Notification email address) text field with a '+' button, '電話番号' (Phone number) text field, and 'パスワード' (Password) section with 'パスワード' (Password), 'パスワード確認' (Confirm Password), and 'パスワードを自動生成' (Generate password automatically) options. On the right is a confirmation screen with a file upload area, 'アクセス許可IP' (Access permission IP) text field with a '+' button, a '状態' (Status) section with radio buttons for '有効' (Active) and '無効' (Inactive), and a '組織' (Organization) section with a '+' button. At the bottom, there are 'キャンセル' (Cancel) and '登録' (Register) buttons. Arrows point to the '有効' radio button and the '登録' button.

権限設定

権限設定を選択し、ユーザー毎の権限を設定していきます。
今回はマスターユーザーの権限設定を行います。



権限設定

権限 *

👤 ユーザー	マスターユーザー admin
🏢 組織	

権限ユーザー/組織 選択

権限タイプ *

ダッシュボード編集権限

キャンセル 更新

権限設定

三

権限設定 > 詳細 (ID: 1)

詳細情報

ID	1
作成者	マスターユーザー
更新日時	2023-12-21 19:22:13
作成日時	2021-08-12 22:33:43

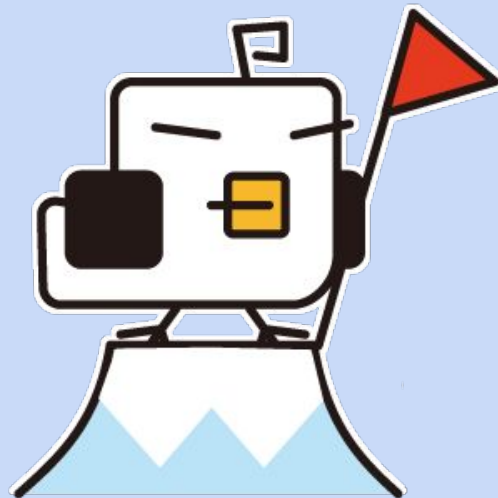
権限設定

権限	👤 ユーザー 🏢 組織	マスターユーザー admin
権限タイプ	ダッシュボード編集権限	

マスターユーザーのみがダッシュボードを編集出来る権限に設定されました。

その他の機能

その他便利な機能を
知っておこう

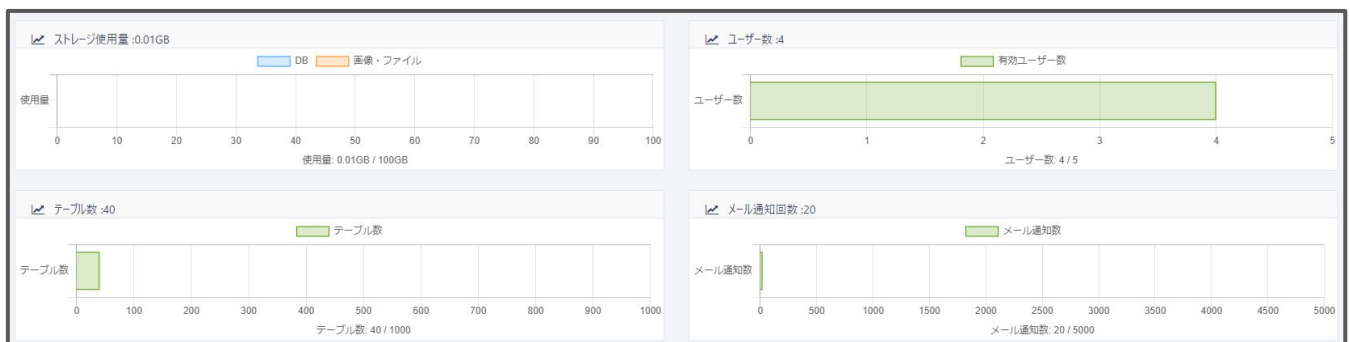


使用状況（使用容量、ユーザー数）を確認する

右上の人アイコンから「システム利用状況」を表示します。



現状使用している「ストレージ使用量」、「ユーザー数」等が表示されます。



ユーザーの操作ログを確認する

ユーザーの操作ログはサイドメニューから確認できます。



確認できるログは以下となります。

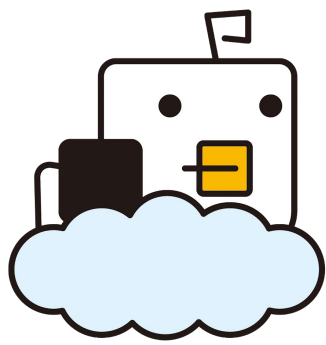
ログ	内容
ログ	ログイン・ログアウト、レコードの作成／編集の操作履歴
CSV UP/DL履歴	CSVアップロード・ダウンロードの履歴
リクエストログ	テーブル削除やJSONエクスポートなどのリクエスト処理時の履歴
通知ログ	通知処理の履歴

さらに高度な使い方は下記のマニュアルから
確認頂けます。

<https://help.pigeon-fw.com/>

ご不明点等あれば、
サポートにお気軽にご連絡下さい。

sales@loftal.jp



Pigeon**Cloud**

<https://pigeon-fw.com/cloud>

株式会社ロフトタル